



【特集：ユビキタスコンピューティングシステム (III)】

- 特集「ユビキタスコンピューティングシステム (III)」の編集にあたって 中島秀之
- 時間に基づく階層化と Value の集約配置手法による耐 Churn オーバーレイネットワーク 洞井晋一 他
- 身体の動きを伴う遠隔協調作業における上半身映像の効果 山下直美 他
- 移動ロボットによる無線センサネットワークの構築と管理および環境情報の収集 鈴木 剛 他
- A Ubiquitous Power Management System to Balance Energy Saving and Response Time based on Device-level Usage Prediction Hua Si 他
- 携帯電話を用いたモバイル生体センサデータ解析プラットフォームの構築 幸島明男 他
- 災害対応探索ロボット群の長距離遠隔操縦のための有線・無線統合型アドホックネットワーク 羽田靖史 他

【一般論文】

- ベイジアンネットワークを用いた授業アンケートからの学生行動モデルの構築と考察 原 圭司 他
- Evaluations of Feature Extraction Programs Synthesized by Redundancy-removed Linear GP: A Case Study on Lawn Weed Detection Problem Ukrit Watchareeruetai 他
- 確率的な動的モデルと視体積制約に基づく複雑形状からの姿勢推定 浮田宗伯 他
- 社会・法政策の視点から見た情報セキュリティインシデント対応* 山川智彦

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



おぶいすらん



3月10日、私はカメラマンとして東京大学本郷キャンパスをうろついていた。学内をあちこち回っていると総受付の近くに小さな子どもの姿を発見。全国大会の会場で子どもを見ることはほとんどないのですぐに目にとまりました。ニコニコと楽しそうに何をしているのだろうと近づいてみると、大会スポンサーのデモ展示場でその子は遊んでいるようです。床にカラフルな風船のような映像を映し、風船を踏むとその色が変わるというデモのようで、いかにも子どもが喜びそうな展示です。その子は同じところをくるくる回りながら延々と遊んでいました。若い両親は子どもを遊ばせながらそばでデモの説明を聞いています。無邪気に遊ぶその様子があまりにかわいくて1枚撮らせていただきました。風が冷たく寒い日でしたが、小さい子どもの無心な笑顔にとても癒されました。きっと両親は大会で発表し、そのついでに子どもを連れてきたのでしょう。こんなふうに家族で参加できるお祭りのような大会が毎回できればいいのと思います。

3月8日から12日までの1週間、50周年記念全国大会が東京大学本郷キャンパスで開催されました。最終的に7,000名を超える参加者があったようです。大会初日には雪が降るなどとても寒い日が続き、総受付を担当していた職員2名があまりの寒さに倒れるというハプニングもありましたが、無事に終了して何よりでした。

さて、今回は特別な試みとして大会プログラムを会誌2月号で紹介しましたが、いかがでしたでしょうか？ 実は校了ぎりぎりまで内容が確定せずけっこう気を揉んだのですが、2月号を事前に読んで行くべきセッションを決めた方も多かったので

はないでしょうか。以前は毎年2月号に会告として全セッションを掲載していたのですが、その後Webでの掲載に移行してから、会誌に大会プログラムが載ったのは8年ぶりのことです。50周年記念ということもあり面白そうなプログラムが満載で、私もいろいろ聞きたかったのですが、目的のセッションが同じ時間帯に重なって行くことができなかったのが残念です。

なお、私が担当している情報処理技術遺産認定式も今回は全国大会の中で開催されました。初代「一太郎」が認定されたのはあちこちで話題になったためご存知の方も多と思います。最近の一太郎はWord形式で保存できるのでね。ジャストシステムの方からWordで資料をいただいたのでちょっと驚きました。

全国大会の手伝いをしたのは数年ぶりですが、大会前日には職員全員で資料の袋詰め作業を行うなど、久しぶりに学園祭の気分を味わえました。

(後路啓子/会誌編集部門)



目次にカラー写真を掲載しています。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「社会に浸透する新たなコンピュータ/ネットワークの世界」については、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■常時ユーザ認証に興味深かった。このような発想で認証を行うというのは、とてもユニークだと思う。(匿名希望)

■子供向け Web ブラウザの記事が大変興味深かったです。先日、情報教育に関する特集がありましたが、若年層とコンピュータについては、まだまださまざまな課題があると思いますので、ぜひ今後もそのような記事を掲載していただきたいと思います。(匿名希望)

■ネットワークの基盤技術からアプリケーション技術までのさまざまな分野が紹介されており、まだまだ発展する分野であることが分かりワクワクして読ませていただきました。(匿名希望)

■いろいろな取り組みが行われていることが分かり参考になった。今後も多種多様な実験や研究が行われることを期待する。(川上明浩)

■特集の全体を通して、それなりに新しいことに挑戦しようという姿勢が分かったが、画期的なブレイクスルーというところまでには距離がある感じがした。(阪本俊幸)

■今回は盛りだくさんでどの記事も非常に興味深く読みました。なかでも音声入力インタフェースや音声認識による英語字幕など、ヒューマンインタフェースに関する研究については惹かれました。一方、子供向け Web ブラウザや嗅覚ディスプレイなど、どうにも予想できないような将来性を感じさせる研究や、位置情報などセンシング技術による災害対策など、素晴らしい研究の一端を知ることができ、とてもハッピーな気分です。今後とも、基本から応用まで、情報処理に関しては何でもアリのてんこ盛りの内容を期待しています。(大垣憲俊)

■「英語字幕による会議支援」は大変興味深く読ませていただきました。(匿名希望)

■今回の DICOMO 特集は、最近の研究動向を知ると同時に、面白いアイデアも見受けられ、良い企画であると思いました。(匿名希望)

■「動的な空間表現を可能とする Web 技術の開発」の記事は今後の Web 標準の動向が窺えて興味が持てました。(匿名希望)

■実際に利用されそうな技術が多く、とても興味深く読むことができました。(匿名希望)

■各記事がコンパクトで読みやすかったです。ただし特集見出しと内容が一致してないと思います。見出しと内容にギャップがあるとがっかりするので、見出しに配慮してほしい。(阿南佳之)

■コンピュータ/ネットワークの浸透によって確かに便利な世の中になりましたが、新たな種類のトラブルも増えていきます。今回の特集でも少しありましたが、セキュリティやディペンダビリティに関する取り組みの継続的な掲載をお願いします。(匿名希望)

■比較的短い文章で簡潔に完結している今回の章立てが、概要を把握する目的で読む場合は好ましいと感じました。(匿名希望)

■英語字幕による会議支援は、私自身以前機械翻訳にかかわっていたので、大変興味を持って読んだ。翻訳にしろ音声認識にしろ、英語の得意な人たちには無縁の(思いつかない?) ツールであり、必要とする人々のニーズを細かく分析することが必要と思われる。(匿名希望)

■自分の専門外の領域では、最先端での研究動向を追いかけるのはなかなか大変で、情報処理の会誌は貴重な情報源になっています。今回の特集も範囲が広く、具体的にどのような研究がなされているか、どの程度まで進んだのかを知ることができました。(匿名希望)

■興味深く読ませていただきました。これまでは特集と言っても堅苦しいものが多く、用もなければ読みませんでしたが、これからはこういったものを定期的に行っていただくと毎月読みたいと思います。(匿名希望)

■「メディアとしての香り」を読んだ感想として、固形化した香り付きプリンタにもこうした開発技術は活かされていくのかなと感じました。(古瀬慶博)

■「英語字幕による会議支援」は、目の付けどころが素晴らしいと思った。私の場合、英語はそれほど得意な方ではないが、何とかなっている順番は、1. 読む、2. 書く、3. 聞く、4. 話すで、多くの日本人がこのような順番ではないかと想像する。英語をしゃべっている人を撮影した画面に英語字幕が表示されれば、ありがたいことこの上ない。ぜひ実用化してほしい。(匿名希望)

■大量の行動履歴情報を扱うプラットフォーム技術行動履歴の活用について興味を持っていますが、もう少し具体的なプラットフォームそのものやアーキテクチャを紹介してもらえると良かったです。(匿名希望)

■「英語字幕による会議支援」を読んで、システムの正解率が100%なのは現在ではよくあることであると思うが、それでも有効であるかを示しているところが興味深かった。会議となると、同時に発言される場合があるのではないかとと思う。そういった場合の、聞き分け、また、読みやすい情報の提示の仕方を含め、提案手法の有効性についても調べてあげばもっと良かったと思われる。(匿名希望)

■「バブルブラウザ：子供向け Web ブラウザの取り組み」については、操作性が被験者のストレスには繋がらなかったという考察が面白いと思います。操作性が悪いと使いたくなくなる人が多いでしょうが、操作性より重要な何か子どもたちには必要なのかもしれません。簡潔であることや楽しいということに言及されていますが、コンテンツそのものなど、他にも評価すると面白そうな点があるでしょう。今後にも期待しています。(千葉一博)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■報告「卓越技術データベースの構築と発信～愛称「電気のデジタル博物館」<http://www.dbjet.jp>～」については、まさに「温故知新」であり、これからも昔の技術を積極的に紹介してほしいと思います。昔の技術があるからこそ、新しい技術が存在するからです。(水野光朗)

■コラム「欧州駐在員便り 次世代送電網欧州事情」を、大変興味深く読ませていただきました。米国での状況はよく耳にしますが、欧州はあまり伝わってこないもので、別途欧州での状況、技術の記事の掲載をお願いしたいと思います。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■表紙が新しくなりましたが、蛇は少々気持ち悪い。もう少し愛嬌がある蛇にならないでしょうか。(阿南佳之)

■スマートグリッドへの日本での取り組みとIT技術貢献(またはその可能性)の現状と将来についての記事を希望します。(古瀬慶博)

■テキストマイニングについて、今後取り上げてほしい。(匿名希望)

■「メールマガジンは何か変だ」というテーマで情報処理に対する医学者の手段を紹介することで、社会的連帯が薄れつつある事実に関連する事業に対する人間的準備の批評を執筆していただきたい。(鈴木敬太)

【本欄担当 尾崎亮太, 中村大賀/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2010年	論文誌「マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシステム」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-T.html	5月17日(月)		
	論文誌「多様な価値を創出する情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-V.html	5月17日(月)		
	論文誌「分散処理とネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-W.html	5月24日(月)		
	論文誌「仮想化時代のインターネットと運用技術」特集への 論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-R.html	6月7日(月)		
	論文誌「インタラクションの基盤技術, デザインおよび応用」 特集, 「インタラクションの基盤技術, デザインおよび応用 (テクニカルノート)」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-PQ.html	6月21日(月)		
4月19日(月)	北海道支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			北海道大学
4月21日(水) ~ 4月22日(木)	第181回計算機アーキテクチャ・第114回 システムソフトウェア とオペレーティング・システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ARC181OS114.html	2月26日(金)	3月26日(金)	ラフォーレ伊東
4月26日(月) ~ 4月28日(水)	ICMU2010 The 5th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking http://www.icmu.org/icmu2010/	9月18日(金)		アメリカ シアトル
5月11日(火)	第49回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CSEC49.html	3月10日(水)	当日のみ	タワーホール船堀
5月13日(木) ~ 5月14日(金)	第1回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CLE1.html	3月12日(金)	当日のみ	放送大学 本部図書館 (千葉 幕張)
5月14日(金)	四国支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			高知大学メディアの森 メディアホール
5月14日(金)	九州支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			熊本大学
5月14日(金)	第138回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HCI138.html	3月12日(金)	当日のみ	ドコモR&Dセンター
5月15日(土)	北陸支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			金沢工業大学扇が丘 キャンパス
5月17日(月)	東海支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			ルブラ王山 (名古屋千種区)
5月19日(水)	東北支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			東北大学
5月19日(水)	第130回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AL130.html	3月17日(水)	当日のみ	北陸先端科学技術 大学院大学
5月19日(水) ~ 5月20日(木)	第145回システム LSI 設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM145.html	3月17日(水)	当日のみ	北九州国際会議場
5月20日(木) ~ 5月21日(金)	第143回 マルチメディア通信と分散処理・第54回 モバイル コンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DPS143MBL54.html	3月15日(月)	当日のみ	沖縄産業支援センター
5月20日(木) ~ 5月21日(金)	第76回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GN76.html	3月20日(土)	当日のみ	早稲田大学西早稲田 キャンパス
5月20日(木) ~ 5月21日(金)	第78回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MPS78.html	3月26日(金)	当日のみ	群馬大学 荒牧キャンパス
5月21日(金)	中国支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			詳細未定
5月22日(土)	第104回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE104.html	4月2日(金)	当日のみ	長野大学
5月22日(土)	第86回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CH86.html	3月15日(月)	当日のみ	大阪大学豊中キャン パス
5月24日(月)	関西支部平成22年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			詳細未定
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウム (SACIS2010) http://www.hpcc.jp/sacsis/2010/	1月19日(火)		奈良県新公会堂
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	第172回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM172.html	3月5日(金)	当日のみ	名古屋工業大学
5月27日(木) ~ 5月28日(金)	第196回自然言語処理・第81回音声言語情報処理合同研究 発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/NL196SLP81.html	4月6日(火)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月28日(金)	第48回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EIP48.html	3月22日(月)	当日のみ	電気通信大学
6月1日(火) ~ 6月2日(水)	第168回ソフトウェア工学・第17回組込みシステム合同研究 発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SE168EMB17.html	3月31日(水)	当日のみ	化学会館 会議室
6月14日(月) ~ 6月15日(火)	第79回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO79.html	4月14日(水)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月17日(木)	第125回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC125.html	4月16日(金)	当日のみ	東京大学 理学部7号館
6月18日(金)～ 6月19日(土)	第21回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/BIO21.html	4月19日(月)	当日のみ	琉球大学50周年記念館
6月25日(金)	第24回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GI24.html	4月23日(金)	当日のみ	奈良女子大学理学部 会議室
7月7日(水)～ 7月9日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2010) シンポジウム http://www.dicomo.org/2010/	3月12日(金)	6月上旬 *論文募集, 参加申込の詳細は 近日中にお知らせします.	下呂温泉 水明館
7月10日(土)	第105回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE105.html	5月24日(月)	当日のみ	大阪電気通信大学
7月19日(月)～ 7月23日(金)	SAINT2010 The 10th Annual International Symposium on Applications and the Internet http://www.saintconference.org/	1月31日(日)		韓国 ソウル
7月30日(金)～ 7月31日(土)	第139回ヒューマンコンピュータインタラクション研究 発表会 http://www.sighci.jp/2010/07/201007300946.html	5月28日(金)	当日のみ	小浜温泉伊勢屋旅館
8月30日(月)～ 9月1日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2010 (SES2010) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-SES2010.html	4月30日(金)		東洋大学 白山キャンパス
9月2日(木)～ 9月3日(金)	DAシンポジウム2010 -システムLSI設計技術とDA- http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-DA2010.html	5月7日(金)		ホテル日航豊橋
9月7日(火)～ 9月9日(木)	FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html			九州大学伊都キャンパス
10月2日(土)	第106回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE106.html	8月16日(月)	当日のみ	秋田大学
11月20日(土)～ 11月21日(日)	第107回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html	10月4日(月)	当日のみ	香川大学
11月22日(月)～ 11月24日(水)	IWSEC2010: 5th International Workshop on Security http://www.iwsec.org/2010/	4月30日(金)		神戸コンベンション センター
2011年				
2月5日(土)～ 2月6日(日)	第108回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
3月2日(水)～ 3月4日(金)	第73回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html			東京工業大学 大岡山キャンパス
3月19日(土)～ 3月20日(日)	第109回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html	1月31日(月)	当日のみ	神戸大学
2012年				
11月11日(日)～ 11月15日(木)	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 3月15日 人材募集情報(3月)更新しました
- 3月8日 「インタラクションの基盤技術、デザインおよび応用」特集の論文募集、「インタラクションの基盤技術、デザインおよび応用(テクニカルノート)」特集の論文募集
- 3月5日 3月8日より安田講堂で行われるイベントのインターネットライブ中継を行います
- 3月2日 [プレスリリース]「情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式」開催～2010年3月9日東京大学小柴ホール～
- 2月24日 第54回臨時総会の開催について

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■千葉大学大学院融合科学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 情報科学専攻 (知能情報コース)
 専門分野 画像情報工学 (画像理解, コンピュータショナル・フォトグラフィ, イメージセンシング, VR, 動画像解析など)
 担当科目 画像解析システム論 (工学部情報画像学科), 画像情報計測特論 (大学院) など
 応募資格 博士号取得者で, 上記分野の教育研究に熱意のある方
 着任時期 原則として平成 22 年 10 月 1 日
 提出書類 履歴書, 著書・学術論文 (レフェリー付きの原著論文, 総説に区別) およびその他 (レフェリーなしの原著論文, 国際学会発表など) のリスト (このリストには論文名・全著者名・雑誌名・巻・最初と最後のページ・発表年 (西暦) について記載されていること), 主要論文別刷 (5 編以内, コピー可), これまでの教育研究概要と採用された場合の教育および研究の抱負についてまとめたもの (2000 字程度), 推薦者一人からの署名入り推薦状または応募者について意見を聞くことができる方 1 名以上の氏名と連絡先
 応募締切 平成 22 年 5 月 31 日 (必着)
 送付先/照会先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学大学院融合科学研究科 矢口博久 E-mail:yaguchi@faculty.chiba-u.jp
 Tel/Fax(043)290-3472 「教員公募」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません

■筑波大学学術情報メディアセンター

募集人員 准教授または助教 1名
 所属 eラーニング推進室
 専門分野 eラーニングにかかわる情報工学分野
 職務内容 次の3つ: 全学的なeラーニング業務の推進, システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における教育研究, 情報学群情報科学類または社会・国際学群国際総合学類における教育
 応募資格 博士の学位を有し (助教の場合は着任時期までに取得見込みも可), eラーニング業務を推進する意欲があり, 専門分野において研究業績がある方, 大学や研究機関のセンター業務または大型研究プロジェクト等に従事した経験があれば望ましい
 着任時期 決定後できるだけ早い時期
 応募締切 平成 22 年 5 月 31 日 (必着)
 照会先 大学院システム情報工学研究科 教授 加藤和彦 E-mail:kato@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5514 または 5163
 その他 詳細は Web ページ (<http://www.cc.tsukuba.ac.jp/recruit.html>) をご覧ください
 【任期】准教授の場合は任用期限なし。助教の場合は着任時から 5 年以内にテニユア付与が認められない場合は任期 5 年

■岐阜工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員	助教 1名
専門分野	セキュリティまたはネットワーク関連分野
担当科目	通信工学, 情報ネットワーク等(実験・実習・卒研指導を含む)
応募資格	博士の学位を有する方(2年以内に取得見込みの方を含む)。高等専門学校の教育・研究および学生指導(学級担任, クラブ指導)に理解と情熱があり, 意欲的に取り組んでいただける方。採用予定日において年齢が30歳以下の方が望ましい(雇用対策法施行規則第1条の3第1項3号のイの適用により, 長期勤続によるキャリア形成を図る観点から, 若年者等を期間の定めのない労働契約の対象として募集)
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	履歴書, 研究業績リスト, 論文・著書等の別刷(コピー可)と日本語の概要, 着任後の抱負, 推薦書など *詳細はWebページ本校教員公募欄でご確認ください(http://www.gifu-nct.ac.jp/shomu/kobo.htm)
応募締切	平成22年6月30日(必着)
送付先	〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 岐阜工業高等専門学校総務課職員係 「電気情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
照会先	電気情報工学科長 熊崎裕教 E-mail:kumazaki@gifu-nct.ac.jp Tel(058)320-1354(直通)

■山口東京理科大学工学部電気工学科

募集人員	任期制嘱託助教 1名
専門分野	通信工学もしくは情報工学
着任時期	平成22年10月1日
応募資格	博士の学位を有する方
提出書類	応募時:(1)~(3), 採用時:(4)~(5) (1)履歴書(2)研究業績リスト(3)推薦書(4)博士学位記(コピー)(5)健康診断書
応募締切	平成22年6月30日(必着)
送付先	〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1 山口東京理科大学工学部電気工学科 藤井洋二
照会先	電気工学科 教授 伊藤紘二 E-mail:itoh@cd.yama.tus.ac.jp Tel/Fax(0836)88-4531

■楽天技術研究所

募集人員	正社員(研究所拡大のため)
職務内容	以下の分野における研究開発 - 情報検索/データマイニング - マルチメディア/ユーザインタフェース - 大規模・分散基盤技術/仮想化
応募資格	大学院, 企業, 研究機関などにおける研究開発経験(博士以上, もしくは修士以上かつ2年以上の研究開発経験)のある方。C/C++, Java等によるプログラム開発経験のある方
着任時期	決定後なるべく早い時期
提出書類	履歴書, 職務経歴書
応募締切	特になし
照会先	Webページエントリーフォーム(https://progres02.jposting.net/pgrakuten/u/job.phtml?job_code=517)をご覧ください
その他	詳細はWebページ(http://rit.rakuten.co.jp/)をご覧ください 面接時にいままでの業績と今後やりたいことのプレゼンテーションを行っていただきます



FIT2010 講演募集案内 第9回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/>

【会期】2010年9月7日(火)～9日(木)

【会場】九州大学 伊都キャンパス
(福岡県福岡市西区元岡 744)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2010年9月には第9回目を九州大学 伊都キャンパスで開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込と合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2010年6月21日(月)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用して是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT の特徴の一つは、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**ヤングリサーチャー賞**からなる論文表彰制度にあり、以下のようにならまわれます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文 3 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2010 会期中)にて 賞金 20 万円 を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 7 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2010 会期中)にて 賞金 5 万円 を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の 1.5%を上限として、2010 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には 賞金 3 万円 を FIT2011 の表彰式にて FIT 推進委員会より贈呈。

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2010 公式サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講

演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い(研究会違い)と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合はクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなります。

【注 6】 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望)でページ数が 4 ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、かつ、クイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野(査読受け入れ研究会)がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始 : 2010年3月8日(月)
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切 : 2010年4月22日(木)
査読の採否結果通知 : 2010年6月21日(月)

論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ) : 2010年6月21日(月)
カメラレディ投稿締切 : 2010年7月2日(金)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅くなります。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始 : 2010年4月30日(金)
登録申込締切 : 2010年5月28日(金)
カメラレディ投稿締切 : 2010年7月2日(金)

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)と情報処理学会の研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下のようになります。

なお、※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情報処理学会を示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
 - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
 - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
 - A-3 ☆プログラミング(PRO)
 - A-4 ※コンピュータ工学(COMP)
- B:ソフトウェア
 - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
 - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
 - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
 - B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)
 - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
 - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
 - C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)
 - C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)
 - C-3 ☆組込みシステム(EMB)
 - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
 - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)
 - C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
 - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能システム(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学习理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※MEとバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
 - G-5 ※身体性情報学時限(IEB)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスとCAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ※ネットワークロボット(NR)
 - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
- K:教育学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-4 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
 - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-3 ☆システム評価(EVA)
 - L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M:ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システム(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
 - M-6 ※ユビキタスコンピューティング(UBIC)
- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
 - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)

N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)

- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
 - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
 - O-4 ※サービスコンピューティング(SC)

〔使用言語〕

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度

FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度

FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望): 4~8 ページ程度

※ 3 ページ目以降から 1 ページ当り 3,000 円

講演時間: 1件 20分(発表時間 15分, 質疑時間 5分)

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会, 情報処理学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(KIISE, 大韓電子工学会, IEEE/Com. Soc., IEEE/LEOS, IEEE/EDS, IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI)の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費(税込み)〕

講演参加費は、発表料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員 10,000 円

学生会員 6,000 円

一般非会員(社会人) 20,000 円

学生非会員 12,000 円

〔エキストラページ費用(税込み)〕

エキストラページ(3 ページ目以降)を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 1 ページあたり 3,000 円

〔別刷代(FIT 査読付き論文の採択者のみ)(税込み)〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷(100部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無にかかわらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り、8,000 円で、講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 12,000 円、団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2010 に関する最新情報は、FIT2010Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

（社）情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会創立 50 周年記念全国大会が 2010 年 3 月 8 日から 12 日まで東京大学本郷キャンパスにて、衆議院議員鳩山由紀夫氏の祝辞と共に盛大に開会されました。主会場の安田講堂では連日著名人の講演が続きました。歴史の重みある安田講堂には 1964 年 4 月の入学式で入ったことがあります。当時の学生は入学式と卒業式の時だけ安田講堂に入りましたが、1968 年 3 月 28 日の卒業式は、医学部全闘委を中心とする 10 名ほどの学生が安田講堂前で円陣を作り卒業式実力阻止と叫んだため中止となってしまいました。この出来事はその後長く続いた東大闘争の序章でありました。東大闘争は山本義隆氏を議長とする東大全共闘と警視庁機動隊との熾烈な攻防戦で幕を閉じましたが、互いの武器は火と水と石であり日本の科学技術の中心における戦い方としては注目に値します。その後全共闘運動は神田カルチャータンなど全国に燎原の火の如くに燃え広がりました。情報処理学会の隣の駿台高等予備校は私の母校ですが、現在山本義隆氏はそこで週 2 回物理学の講師をされています（氏の「磁力と重力の発見」は真の名著であると思いました）。私の卒業式を粉砕した学生の中にはその頃すでに著名であったシャンソン歌手の加藤登紀子氏ばかりでなく、後年環境庁で京都議定書を纏め上げた浜中裕徳氏（現慶應義塾大学）も参加していて「お前も輪に入れ」と手招きされたことを懐かしく思い出します。振り返れば私も数えて 67 歳、辿り来て未だ山麓。

火炎瓶投げしあたりや曼珠沙華

招待講演では濱田純一東京大学総長、チューリング賞受賞者 Fran Allen 女史、Jim Isaak IEEE-CS 会長、小宮山宏前東京大学総長が講演されました。小宮山先生の講演は分かりやすく情熱溢る口調で CO₂ 25% 削減がいかに簡単であるかを教えてくださいました。氏によれば、生産活動における排出量の大幅削減は

製造プロセスが進化しすぎた日本の製造業ではこれ以上難しいのですが、この技術を海外に販売することとオフィスや家庭での省エネ対策でいとも簡単に解決できると明言されます。その方法は、ハイブリッド車、二重窓による断熱、太陽光発電、省エネ冷蔵庫（14 万円）、LED ランプそしてヒートポンプ給湯と実現できることばかりなので、世界に 25% 削減を約束した日本国民としては大いに元気づけられました（我が家では申し訳ないことにこれらのエコ機器をまったく使用していません）。

記念全国大会の最後は文部科学省と共催の「計算科学技術と次世代スーパーコンピューティング基盤」であり蓮舫参議院議員に事業仕分けされたスパコンの技術基盤を分かりやすく解説してくれるセッションでした。ユーリッヒスパコンセンター長トーマス・リッパート氏の講演「欧州のハイエンドスーパーコンピューティングインフラについて」はこれまた非常に興味深いものでした。EU では独自にスパコンを開発せず、ドイツのユーリッヒに IBM の Blue Gene を中心とする購入品のスパコンによる共同利用計算センターを構築した結果、事業仕分けで限りなく見送りに近い縮減となった日本のスパコン開発に比べ数分の一の価格で巨大計算センターを運用できています。スパコンの利用に主眼を置くなら EU の方法、スパコン開発技術を国内に維持するためにメーカーに税金を投入するのであれば理研の方法ということになるのではないかと思います。日本は仕分け後の各所の反対で結果的には開発技術を選んだことになりませんが、事業仕分けでは一位二位の議論よりもどこに目を向けるべきかを問う議論をもっとやってほしかったと思います。何もかもが中途半端で気がつくとも開発技術も利用技術も世界中に遅れていることになっているのではと危惧する次第です。

（湖東俊彦／事務局長）



Fran Allen 氏 (IBM 名誉フェロー)



小宮山 宏氏 (三菱総研 理事長)



トーマス・リッパート氏 (ユーリッヒ
スパコンセンター 長)

平成 22 年度通常総会の開催について

会長 白鳥 則郎

平成 22 年度通常総会を下記により開催いたします。総会の案内状は、5 月上旬頃に法律上の社員である代表会員に郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

総会の議事議決権は代表会員が有しますが、もちろん代表会員以外の正会員・名誉会員の皆様も、積極的に総会に出席してご発言いただきますようお願いいたします。

記

- 日 時 平成 22 年 5 月 31 日 (月) 16:00 ~ 18:00
 会 場 如水会館 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-1)
 予定次第 1. 平成 21 年度事業報告および決算
 2. 平成 22 年度事業計画および予算
 3. 会費滞納会員の取扱い
 4. 名誉会員の推挙
 5. 平成 21 年度功績賞, 論文賞, 喜安記念業績賞, 長尾真記念特別賞の発表と表彰
 6. 平成 22 年度役員改選

※総会終了後、懇親会を行います。皆さまのご出席をお待ちしております。

ITの最新情報, 研究発表の場の提供を通じて, あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ, 情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事 業 / 国 際	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【5月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5104.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2010年4月号) の記事はお役に立ちましたか、下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集：拡張現実感 (AR)

1. 基礎 1：拡張現実感 (Augmented Reality : AR) 概論 10-1- []
2. 基礎 2：位置合わせ技術 10-2- []
3. 基礎 3：開発用ツール 10-3- []
4. 応用 1：モバイル AR 10-4- []
5. 応用 2：プラント保守作業支援 10-5- []
6. 応用 3：医療分野における AR の活用 10-6- []
7. 応用 4：ミュージアムへの展開 10-7- []
8. 応用 5：プロジェクション型 AR 10-8- []
9. 展望 1：AR のハードウェア 10-9- []
10. 展望 2：AR のためのセンシング 10-10- []
11. 展望 3：AR のインタフェース 10-11- []
12. 展望 4：AR の社会的インパクト 10-12- []
- 「医用画像を処理してみませんか？」CT 像を対象とした画像認識・理解・生成を中心として 10-13- []
- 欧州駐在員便り：ケンブリッジ大学とともに歩む 10-14- []
- 情報処理技術遺産：自動算盤 10-15- []
- "I" 見聞録：SIIT 2009 10-16- []

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から 1 つだけ選び (例：10-8 の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] 選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他 (具体的に下記にご記入ください)

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から 1 つだけ選び (例：10-8 の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
- [12-2] 選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 12-2- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他 (下記に具体的に記入ください)

(13) 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

昨年急にメジャーになったARは、セカイカメラを筆頭にコンテンツ・サービス業界を巻き込み、今年になってさらに大きく展開しています。本誌でも昨年末急遽ARの特集を組むことになり、加藤博一先生にゲストエディタをお願いしました。加藤先生にはお忙しいところをご快諾いただき、短い期間で全体を基礎から応用、展望まで包括するよう構成していただきました。その後、著者の皆さんには非常に短い期間で記事を書いていただきました。企画段階からかなり困難なスケジュールであったにもかかわらず、ゲストエディタや著者の皆さんとの間で何度もメールのやりとりをしたり、間に合わなかった場合の代替りの企画を考えたりして、はらはら、バタバタしながら、ようやく編集を終えることができました。タイムリーに特集をお送りすることができる見込みとなり、ほっとしているところです。こういうドタバタこそが編集の楽しみかとも思いますが、もうちょっと余裕を持って企画を進めればよかったとあらため

て反省する次第です。加藤先生はじめ、著者の皆さん、関係者の皆さんには、このようなきわどいスケジュールで共に取り組んでいただき、たいへんお世話になりました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

前述の通り、また、特集内でも述べられている通り、急展開しているARですが、近い将来Webを凌ぐ大きな情報技術インフラに成長する可能性を秘めています。現状のシステム・サービスは、研究レベルで進められているARの世界と比べると、まだまだ初歩的な段階にあります。本特集により、その技術的な根幹や、今後のもっとリッチなシステム・サービスの可能性が見えてくるのではないかと思います。読者の皆さんには、そのような可能性を考えながら、ぜひじっくりと読んでいただければと思います。

(塚本昌彦・長瀬友樹／本特集エディタ)

次号 (5月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「創立 50 周年記念特集」情報処理技術の未来地図

情報処理技術と学会の未来／法令工学：安心な社会システム設計のための総合ソフトウェア科学／理論研究の役割／言語・画像のデータ依存情報処理／電子行政・総合科学・現代社会と教養・人材育成—情報セキュリティ視点からの起承転結—／コンピュータサイエンスは如何にして人類の未来に貢献するか—オープンシステムサイエンスにおけるコンピュータサイエンスの役割—／パターン認識・マルチメディア技術 今後の技術と新たな産業創出／情報通信機器の現状と今後の技術開発／ヒューマンインタフェース技術の未来：HIは現在進行形／コンピューティングによる近未来の暮らし／公募論文 14 編／情報処理の未来地図

「創立 50 周年記念特集」画像で綴る IPSJ 全国大会 50 年

情報処理学会における全国大会の位置づけ／全国大会発表方法の移り変わり／全国大会 全インデックス／これからの情報処理学会と全国大会

解説：崩壊する周産期医療を救う IT—分娩監視技術の開発から IT による遠隔医療の全国展開まで—…………… 原 量宏
 報告：最近の情報システム教育研究—ICIS2008 を通して J07 を考える— ……………… 渡邊慶和 他
 委員会から：出版物オンライン化の時代を迎えて…………… 中島秀之
 連載：古機巡礼 / 二進伝心
 コラム：“I” 見聞録

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
 Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 51巻4号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表4 サイエンス社……………目次前
 エクセルソフト……………表2対向, 同封 リードエグジビション ジャパン……………同封
 オーム社……………表2対向

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel. (03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社 NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
(株) NTT コムウェア

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)



Fusic Co., Ltd.
(株) Fusic

ilovex

(株) アイロベックス

INFOJAM

(株) インフォジャム

uejima SONY

(株) うえじま企画

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニューズウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375